

令和3年度学校評価

本年度の重点目標		<ul style="list-style-type: none"> ・連続性のある学び、確かな学びを実現する教育課程を検討し、「授業の質」を高める。 ・児童生徒の安全・安心の確保、関係機関との連携、特別支援教育のセンター的役割など「学校力」を高める。 ・児童生徒の確かな成長を支えることができる「教師力」を高める。 		
項目(担当)		重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	学校力の向上	・教室環境の充実	・教室物品に関する購入計画を立てて、順次購入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室に常備している物品を調査し、交換が必要な品目及び数を確認する。 ・現在使用できている物でも劣化の目立つ物品は計画的に購入して入れ替えるようにする。
	授業の質の向上	・ICT機器を活用した儀式的行事の実施	・タブレットや大型テレビモニターを用い、分散形式で行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に編集した映像等を配付したり、会場で実施している式典をライブ配信したりして、各教室で実施または参加できるようにする。 ・他分掌と連携して業務を分担し、効率的に進める。
教務部	授業の質の向上	・評価の3観点を意識して授業改善を図ることができる体制づくり	・バランスのとれた学習評価を行うために、評価の3観点を意識した年間指導計画を作成する。	・校内研究を通して、今年度作成した年間指導計画の目標を、学習指導要領に基づいて3観点到に整理し、授業の改善につなげる。
	学校力の向上	・事務処理の効率化によりワーク・ライフ・バランスを意識した業務ができる職場環境づくり	・個別の指導計画の目標を3観点到に整理した様式の検討を進め、令和4年度より順次、指導要録に添付できるようにする。	・現行の個別の指導計画の様式を基準にし、他の学校の情報を得ながら検討を進める。
生徒指導部	学校力の向上	・危機管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各種訓練の反省を基に学校安全マニュアルの見直し、周知を図る。 ・保護者に対して安否確認メールの訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引渡しについて、県からの通知を参考に南海トラフ地震臨時情報が発表された場合の対応を見直し、職員・保護者への周知を行う。 ・情報・図書部と連携し、緊急時の適切な安否確認方法について検討する。また、その方法を保護者に周知する。

生徒指導部		<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートや連絡帳、保護者への聞き取り、児童生徒の様子や変容を見守ることを通じて、いじめの兆候を早期発見し、早期対応する。 情報モラル教育年間計画を作成し、計画的に指導を行うことで、SNS等の利用によるいじめの未然防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針を校内Web、ホームページに掲載し、職員に対する周知・徹底を図る。 職員による見守り、観察の重要さや人権意識を高める内容について、メソフィアや会議の連絡等を通じて、職員に周知・啓発を行う。 高等部対象生徒に対して、外部講師による講座や職業の授業、生徒指導主事講話等、年間を通して指導する。
	<ul style="list-style-type: none"> 学校力及び、教師力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特別支援教育のセンター的役割を深めるとともに、関係諸機関との連携の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 年4回開催する職場定着支援連絡会において卒業生の様子に関する情報を共有し、必要な支援方法を講じたり、今後の生徒の進路指導に役立てたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係諸機関との情報を学年会等で関係職員と共有し、学校での指導に役立てる。 関係諸機関との情報を共有し、生徒の卒業後の進路選択や授業内容に活用することができるようにする。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 学校力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域・社会に開かれた学校づくりをすすめるための情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 進路の手引き等を利用して保護者に進路に関する情報を適時提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路開拓を必要に応じて行い、進路先の新しい情報を収集し保護者に提供する。
	<ul style="list-style-type: none"> 授業の質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 食育への取組を推進と食に関する指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「食に関する指導の全体計画」を職員に周知する。 集会や授業を活用し、食育の充実を図る。 食に関する諸問題について保護者と連携して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「食に関する支援・指導」に関する情報をメソフィアやライブラリー等を使って職員全体に発信する。 教科間の連携を行う。 6月、11月の全校集会、1月の部集会で「食育と生活習慣病」に関する取組を行う。 学校保健委員会の取組や家庭で参考となる内容を保健だよりや食育だよりで紹介する。 食物日誌の活用について保護者に知らせる。
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> 学校力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 学校事故を未然に防ぐ体制づくり 的確かつ迅速な緊急時への対応の体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 保健関係の手引きの周知、徹底を行う。 緊急事態が起こった時に迅速に対応できるように訓練を行う。 校外活動時の緊急対応カードの検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 服薬管理、エピペンの対応、食品取扱いの衛生管理等について伝達を行ったり、新内規集を活用して周知したりする。 現職研修でアレルギーの対応についての講習を行う。 緊急対応訓練においていろいろな場面や状況を想定して訓練を行うことにより、緊急時に的確かつ迅速に対応できるようにする。

研修・研究部	授業の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善を図るための体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 3観点の理解を深めるため、今年度作成した年間指導計画を基にして3観点を取り入れた単元目標を考え、新しい年間指導計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究で、3観点を取り入れた年間指導計画を作成する。研究日を中心に、話し合いの場を設け、教務部と連携しながら既存の年間指導計画の見直しをする。
	学校力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 専門性の向上をはかるための研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 職員のニーズに合った案を作成し、次年度に向け計画をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施した研修の課題を把握する。実施した研修の内容を、次年度に向け改善案を作成、引き継いでいく。
情報・図書部	学校力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報漏えい防止及び情報セキュリティポリシーの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 重要性Aの情報の取り扱いを始めとする情報セキュリティ対策の徹底を図る。 情報セキュリティポリシーの見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要性Aのデータを適宜チェックし、パスワードの掛け忘れ等の不備がないようにする。 個人情報の取扱いに関するアンケートを随時実施する。 GIGAスクール化構想に合わせて、情報セキュリティポリシーの見直しを行う。
	教師力の向上及び授業の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を使用した授業の推進と内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の整備や購入計画を進め、授業等で使いやすく有効な環境作りを行う。 タブレット端末などのICT機器を活用した効果的な指導方法を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の保管場所などの一覧表を校内webに掲載し、使いやすい環境作りに努める。 校内Webやメソフィア等を利用して、ICT機器の使用方法などを分かりやすく提示する。 職員研修で児童生徒一人一台iPadの活用方法を提案する。
教育支援・自立活動部	学校力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 校内・校外におけるサポート体制づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 校内における相談ケースの進め方を検討し実践する。 関係機関の情報を調べてまとめ、職員に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の対処方法を検討しケースに合った方法を提案する。 放課後等デイサービスや相談支援事業所など児童生徒を取り巻く社会的資源を調べることで、サポート体制に役立てることができるようにする。
	授業の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動の円滑な授業づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルの視点に基づいた授業づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態把握から目標設定、内容の選定までの指導の流れを整理し、自立活動たよりで情報提供したり、研修を実施したりする。 自立活動担当者による参観や相談を通して、児童生徒の困難さの背景や授業づくりなどを担当者とともに考える。
学校関係者評価を実施する主な項目			<ul style="list-style-type: none"> 授業の質の向上 学校力の向上 教師力の向上 	

令和3年度「学校評価」年間計画

3月	<p>重点目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会、職員会で審議 	
4月	<p>重点目標等の周知・共通理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回 学校評価委員会 ・各分掌の具体的計画等の立案 	<ul style="list-style-type: none"> ★ PTA総会 <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標、具体的方策の説明 ◎ 第1回 学校評議員会 (5/6) <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標、具体的方策の説明 ◎ 第2回 学校評議員会 (10/21) <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価の報告 ・保護者アンケート内容の審議 ★ 保護者アンケートの実施 ★ 全体保護者会 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の公表 ◎ 学校関係者評価委員会 (2/16) ★ 学校ホームページ等での年度末評価の公表
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月	<p>教員による中間評価（自己評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回 学校評価委員会 ・取組状況の確認、改善策の検討 ・保護者アンケート内容の検討 	
11月	<p>保護者による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に関するアンケートの実施 	
12月	<p>保護者による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集計結果を踏まえた改善策等の検討 	
1月		
2月		<p>教員による年度末評価（自己評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第3回 学校評価委員会 ・自己評価のまとめ <p>学校関係者による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校関係者評価委員会 ・自己評価結果の報告 ・自己評価結果に対する評価
3月	<p>教員による評価のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回 学校評価委員会 ・学校関係者評価を受けてのまとめ ・次年度の重点目標、具体的方策の策定 	